



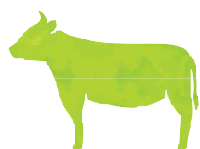
概要

山形県道路中期計画

2028

(改訂版)

ヒト・モノの交流を促進し
山形の未来を拓くみちづくり



令和6年3月
山形県 県土整備部

山形県道路中期計画2028(改訂版)概要

はじめに

山形県では、2009(平成21)年度に山形県道路中期計画「山形のみちしるべ2018」を策定(2013(平成25年)年度に改訂)し、計画的かつ効率的な道路整備、維持管理を行ってきました。

「山形のみちしるべ2018」の最終年度には、増加する外国人観光客への対応や自転車の利活用推進、重要物流道路制度の創設などの動きを踏まえ、新計画が必要となり、2018(平成30)年度に、各分野からの有識者からなる「みちづくり評議会」等における意見を踏まえ、今後概ね10年の道路行政の方針を示す新たな計画として「山形県道路中期計画2028」を策定しました。

その後、東北中央自動車道の整備の進展や豪雨災害等により生じた、新たに顕在化した課題等を踏まえ、2023(令和5)年度に、計画を改訂しました。

策定経緯

みちづくりを取巻く山形県の現状と背景等

計画策定時の背景

- 1) 少子高齢化を伴う人口減少が加速
- 2) 社会保障関係費の増によりインフラ投資の圧縮
- 3) 整備途上の高規格道路
- 4) 公共事業を巡る社会情勢の変化

計画策定時の課題

- 1) 平成20年代の課題
 - 全国で登下校中の児童等の交通事故が相次ぐ
 - 道路予算の減少に伴う事業の長期化
- 2) 道路施設の老朽化が進行
- 3) 東日本大震災で浮かび上がった課題
 - 非常時にも機能する道路網の形成(リダンダンシーの確保)
 - 地震・津波対策
 - 道路の副次的な機能への取組み
 - 「道の駅」の防災機能としての可能性
- 4) 新たな時代のニーズへの対応
 - イパワード等新たなニーズに対応した道路環境の整備
 - 安全に自転車を利用できる環境整備

計画策定後に顕在化した課題等

- 【1】「縦軸」整備の進展と「横軸」整備への期待 ⇒ 施策1**
 - ミッシングリンクの解消とダブルネットワークの構築に向け縦軸と特に横軸の整備促進等
- 【2】ICへのアクセス性が低い地域の存在 ⇒ 施策2**
 - カバー率100%を目指し、県内全域へのアクセス性向上
- 【3】激甚化・頻発化する豪雨災害 ⇒ 施策4**
 - 県土強靱化に向けた災害に強い道路ネットワーク構築
- 【4】全国で繰り返される通学児童の死傷事故 ⇒ 施策5**
 - 通学路合同点検等を踏まえた新たな危険箇所への対応
- 【5】建設業界における高齢化・担い手の減少 ⇒ 施策6**
 - OAI等のデジタル技術を活用し道路管理を省力化・効率化
- 【6】自転車走行環境が十分に確保されていない ⇒ 施策9**
 - 安全で快適に自転車を利用できる環境の創出

総合的な国の計画

国土形成計画

社会資本整備重点計画

東北圏広域地方計画

総合的な県の計画

全県のビジョン
山形県総合発展計画

社会資本整備に関するビジョン
やまがた「県土未来図」

山形県道路中期計画2028(改訂版)

その他の計画

新広域道路交通ビジョン・計画
自転車活用推進計画
やまがた道の駅ビジョン など

やまがたのみちの将来像

ヒト・モノの交流を促進し山形の未来を拓くみちづくり

みちづくりの方針と施策

3つの柱

9つの施策

(活力創造・広域交流促進)
【柱1】県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

- ① 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手
- ② 広域道路ネットワークを活かす追加IC(スマートIC含む)及びICや拠点へのアクセス道路の整備推進
- ③ 高規格道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

(安全・安心・保全・協働)
【柱2】災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

- ④ 防災・減災、県土強靱化に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化
- ⑤ 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進
- ⑥ 予防保全型維持管理等による計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

(地域活性化・快適・効率化)
【柱3】既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

- ⑦ 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進
- ⑧ 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進
- ⑨ 山形の特性を活かした道路ストック(施設)をかしこく使うみちづくりの推進

県民の望むみちづくりの在り方

◇居住地域の生活環境をよくするために重要な施設

1位 道路(高速道路、国道・県道等)、2位 医療機関、3位 福祉施設

◇優先的に推進して欲しいと考える道路の施策

1位 豪雨や地震など自然災害に強い道路の整備
2位 通学路等の交通安全対策
3位 橋やトンネルなどの老朽化対策
4位 自転車が安全に通行できる環境の整備
5位 高規格道路(高速道路など)の整備

9つのみちづくりの施策

1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

施策1

県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

- i) ミッシングリンクの早期解消による高規格道路と直轄国道等とのダブルネットワークの構築に向け、縦軸と特に横軸の整備促進と未事業化区間の事業化に向けた調査促進
- ii) 「重要物流道路(基幹道路)」の整備促進及び国際海上コンテナ車の通行に対応した構造不適合箇所・せい弱箇所の機能強化の促進
- iii) 高規格道路網や幹線道路の重大事故の防止を図る効果的な交通安全対策の促進

【指標1】 高速道路の供用延長(供用率)

(2018末)259km、76% → (2028末)320km、94%

【指標2】 地域高規格道路の供用延長(供用率)

(2018末)29km、29% → (2028末)56km、56%



▲東北中央自動車道(新庄金山道路)
出典:山形河川国道事務所



▲日本海沿岸東北自動車道(遊佐象潟道路)
出典:酒田河川国道事務所



▲一般国道113号 新潟山形南部連絡道路
(小国～飯豊間)
出典:山形河川国道事務所



▲一般国道47号 新庄酒田道路
(戸沢村古口付近)
出典:山形河川国道事務所

9つのみちづくりの施策

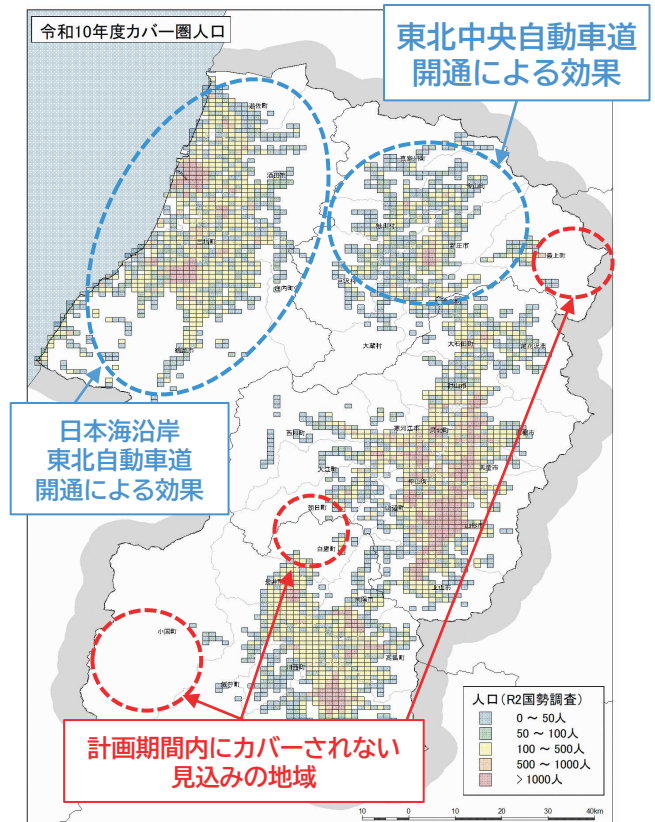
1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

施策2

広域道路ネットワークを活かす追加IC(スマートIC含む)及びICや拠点へのアクセス道路の整備推進

- i) 高規格道路を利用しやすい環境整備を図るため、追加ICやスマートICの整備促進
- ii) 県内全域へのアクセス性向上に向け、高速道路など高規格道路のIC等に接続するアクセス道路の整備を推進
- iii) 重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備推進

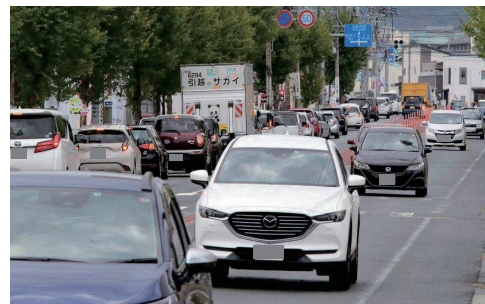
【指標3】 ICへ30分でアクセスできる人口の割合
(2018末)65% ➔ (2028末)97%
【指標4】 ICへ10分でアクセスできる工業団地数
(2018末)35箇所 ➔ (2028末)65箇所
【指標5】 ICへ30分でアクセスできる主要な観光地数
(2018末)59箇所 ➔ (2028末)109箇所



▲ICに30分以内にアクセス可能な人口 (令和10年度末時点見込み)



▲東北中央自動車道 山形PAスマートIC
出典:山形市



▲(主)山形山辺線(山形市城西町)



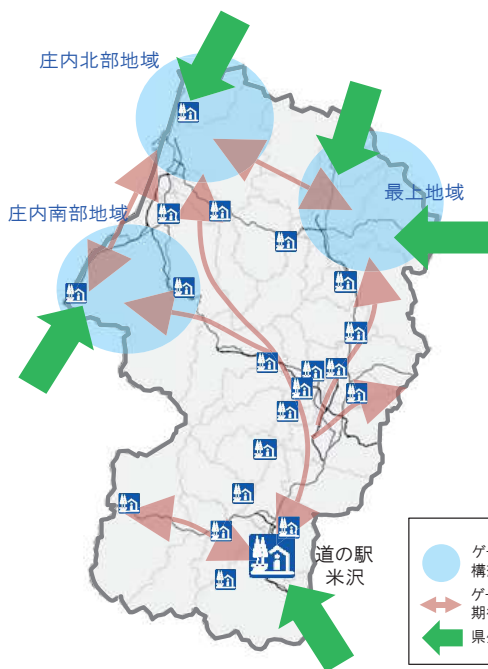
▲(国)287号(東根市羽入)



▲(国)287号(長井市館町南外)

施策3 高規格道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

- i) ゲートウェイとなる「道の駅」等の整備促進に向けた市町村の取組を支援
- ii) 公共交通の交通結節点としての機能を持ち、活気あふれる「道の駅」の機能強化を支援
- iii) 地域の防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の周知



【指標6】 山形らしい魅力のある「やまがた道の駅」の数

(2018末)21駅 → (2028末)30駅

【指標7】 防災拠点機能を備えた「道の駅」の数

(2018末) 4駅 → (2028末)10駅

〈ゲートウェイ型「道の駅」の機能〉

- 地域の観光窓口機能
 - ・地域全体の観光案内、宿泊予約窓口等
- インバウンド観光の促進
 - ・外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM等
- 地方移住等の促進
 - ・地方移住のワンストップ窓口
 - ・ふるさと納税の情報提供 等

▲観光・地域情報を発信できるゲートウェイ型「道の駅」の構想

出典：国土交通省道路局



▲道の駅おおえ 再整備(構想パース図)
出典：大江町資料



▲道の駅鳥海 移転整備(構想パース図)
出典：遊佐町資料

9つのみちづくりの施策

2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

施策4

防災・減災、県土強靱化に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

- i) 「緊急輸送道路」や「重要物流道路」とともに指定される「代替路」や「補完路」について、道路ネットワークの強化のため、橋梁の耐震化等を優先的に実施
- ii) 道路の防災対策の推進
- iii) 県土強靱化に向けた、災害に強い道路ネットワークの整備推進
- iv) 災害発生時における迅速かつ正確な交通規制・迂回路等の情報提供、孤立解消に向けた迅速な応急復旧等の実施

【指標8】 緊急輸送道路における橋梁耐震化率

(2018末)96% → (2028末)100%

【指標9】 重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率

(2018末) — → (2028末)100%



▲(主)庄内空港立川線(三川町)老朽化橋梁架替



▲(主)長井飯豊線(飯豊町小白川)大巻橋架替



▲(国)121号(米沢市入田沢)強靱化に向けた検討



▲(主)山形朝日線(朝日町送橋)法面对策



▲(主)米沢飯豊線(飯豊町高峰)雪崩対策

施策5 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

- i) 子ども達の通学路の安全確保に向け、通学路合同点検等を踏まえ、歩道設置やゾーン30プラス等の交通安全対策を推進
- ii) 進行する高齢化を見据え、子どもだけではなく高齢者や障がい者にも優しい歩行空間を創出（無電柱化による障害物除去、段差解消等）
- iii) 限られた予算内で広く効果を発現できるよう、多様な交通安全対策を実施（側溝整備等による幅広路肩の整備、視認性確保のための路肩や交差点のカラーリング、植樹帯の除去による道路空間の再配分など）

【指標10】 通学路点検による要対策箇所の対策率

(2018末)20% → (2028末)100%

【指標11】 事故危険区間の対策率

(2018末)25% → (2028末)100%



▲通学路の合同点検状況(上山市)



▲(主)大江西川線(大江町顔好)
通学路の歩道整備



▲(主)尾花沢関山線(村山市楯岡新町)
通学路の歩道整備



▲(一)泉田新庄線(新庄市太田踏切)
通学路の歩道整備(踏切拡幅)



▲(国)344号(真室川町大沢(田郎))
通学路の歩道整備

9つのみちづくりの施策

2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

施策6

予防保全型維持管理等による計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

- i) 高度成長期に集中的に整備した橋梁の長期的な維持管理コスト縮減、予算の平準化を推進
- ii) トンネル等大型構造物について、効果的・効率的な維持管理を実施
- iii) 舗装、雪寒施設等の道路施設について、計画的な維持管理を実施
- iv) 建設業界においても深刻化している高齢化や担い手不足下であっても、道路の適切な日常管理や除雪、災害対応等による円滑な交通を確保するため、AI等のデジタル技術を活用した維持管理の省力化・効率化を推進
- v) 地域や企業、NPO等の力を活かした県民協働による効率的な維持管理を実施

【指標12】健全度が低い橋の対策率

(2018末)85% → (2028末)100%

【指標13】健全度が低いトンネルの対策率

(2018末)98% → (2028末)100%



橋脚のひび割れ



主桁のひび割れ

▲(一)板谷米沢停車場線(米沢市)相生橋架替



床版の鉄筋露出



支承のボルト破断

▲(主)寒河江村山線(河北町)河北橋補修・架替(調査)

3次元点群データ事例 (主)天童寒河江線



災害復旧への活用



施設点検への活用

▲道路空間DXイメージ

3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

施策7 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

- i) 一般国道や主要な県道において道路の改築・拡幅やバイパスの整備を推進
- ii) 地域の実情に応じた効率的な整備を推進(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)

【指標14】 救急医療機関へ新たに10分でアクセスが可能となる人口

(2018末) - ➡ (2028末)7,000人

【指標15】 冬期の円滑な交通が確保された堆雪幅のある道路延長

(2018末)703km ➡ (2028末)755km



▲(国)458号 (山辺町大寺)



▲(国)287号 (朝日町上郷)



▲(一)菅里直世下野沢線 (遊佐町直世)



▲1.5車線整備の事業メニュー



▲地域の実情に応じた道路改良の事例
(主)山形永野線 (山形市土坂)の部分的な拡幅

9つのみちづくりの施策

3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

施策8 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

- i) 都市部における街路事業の整備を推進
- ii) 良好な景観を創出する無電柱化や賑わい空間形成に向けた取組を推進
- iii) バイパスの整備や交差点改良等による渋滞対策を推進するとともに、最新データや地域の実際の交通状況を踏まえ主要渋滞箇所の見直しを実施

【指標16】 都市機能誘導区域・中心市街地活性化区域内の都市計画道路の整備率

(2018末)62% → (2028末)73%

【指標17】 無電柱化の整備延長

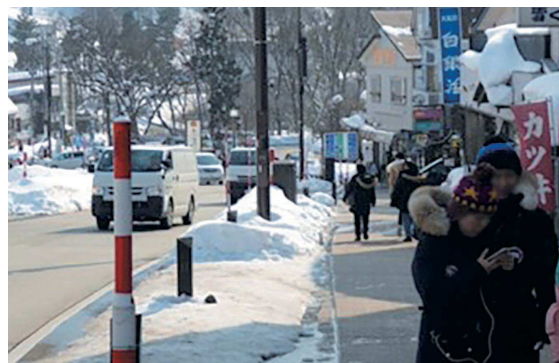
(2018末)64km → (2028末)75km

【指標18】 市街地エリアにおける主要渋滞箇所数

(2018末)66箇所 → (2028末)51箇所



▲(都)道形黄金線 (鶴岡市泉町)



▲(主)上山蔵王公園線 (山形市蔵王温泉)



▲(都)双月志戸田線 (山形市旅籠町)



▲(都)赤湯停車場線 南陽市
市街地における賑わいの創出事例 (R5ワインフェスティバル)

施策9

山形の特徴を活かした道路ストック(施設)をかしこく使うみちづくりの推進

- i) 自転車ネットワーク計画を踏まえた自転車利用環境の整備に向け、自転車通行帯としても利用できる冬季の堆雪幅を確保した“山形らしい”みちづくりを推進
- ii) 県外・国外からの来訪者にも分かりやすい道路標識の整備を推進
- iii) プローブ情報を用いた渋滞対策・交通安全対策の検討及び実施

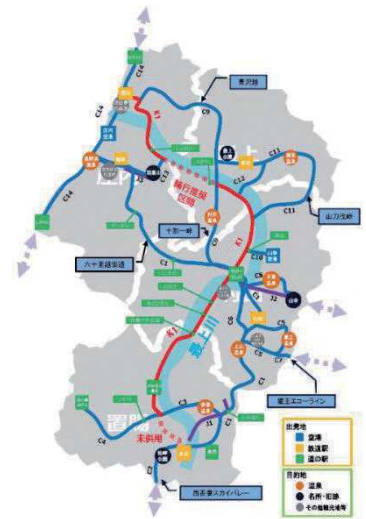
【指標19】 県及び市町村の自動車ネットワーク計画に位置付けられた県管理道路における自転車利用環境整備率
(2018末) - ➔ (2028末)100%



▲(国)458号 (山辺町大寺)(再掲)



▲(国)287号 (白鷹町下山)



▲自転車ネットワーク計画(R.4.3)

やまがた蔵王ヒルクライムルート

○やまがた蔵王における自転車活用推進、観光振興、地域活性化を目的とし、やまがた蔵王自転車活用推進協議会を、令和5年度に設置。

<協議会メンバー>
蔵王温泉観光協会、蔵王坊平観光協議会、蔵王猿倉観光協議会、山形市観光協会、上山市観光物産協会、サイクルイベント関係団体、山形市、上山市、山形県が連携して自転車走行環境や受入環境の整備、情報発信を行います。

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

- 自転車走行環境の整備
 - ・サイクリストが安全安心に走行できる自転車走行環境を整備(路肩拡幅、側溝整備)
- 案内板の整備
 - ・蔵王温泉、蔵王刈田リフトまでの距離と標高の案内板(標石※)を設置
 - ※地元の蔵王石を使用した標石を、1km毎約40基設置。
 - 設置前に模型を現地に置き、文字の見え方をサイクリストが走行・確認を行い採用。

サイクルツーリズム推進のための取組(案)

- 道の駅「やまがた蔵王」※:サイクルステーション(レンタル)、サイクルラックの整備
- 温泉旅館、ホテル:部屋に自転車を持ち込める改修 ※令和5年12月3日オープン
- 観光施設:サイクルラックの整備
- 情報発信:県、市のホームページ、SNS(YouTube)

<標高グラフ>

蔵王温泉 (標高850m)
道の駅 やまがた蔵王 (標高170m)
蔵王刈田リフト (標高1570m)
蔵王猿倉レストハウス (標高730m)

凡例
蔵王ヒルクライムルート 約47km

▲やまがた蔵王ヒルクライムルート国のモデルルートに R5.10.24設定

地域のみちづくりビジョン 《村山地域》

■村山地域の今後5年間のみちづくりの方向性

- 1 山形自動車道の未整備区間の新規事業化・高規格道路と直轄国道とのダブルネットワークの構築による他地域との連携強化 《施策1》
- 2 高速道路の整備効果(産業・観光振興)を最大限に発現するスマートIC及びICアクセス道路の整備推進 《施策2》
- 3 中心市街地の活性化・渋滞対策と生活圈間を安全に結ぶ道路ネットワークの向上 《施策7,8》
- 4 県内の他地域や、物流・観光拠点、幹線道路へのアクセス向上 《施策7》
- 5 住む人にやさしく、多様で効果的な交通安全対策の強化 《施策5》
- 6 宮城県との交流促進のためのアクセス向上、リダンダンシー機能の強化 《施策4,7》
- 7 自然災害による孤立の危険性の高い地域の防災機能強化 《施策4,7》
- 8 冬期間の交通安全の確保 《施策4》
- 9 観光地の景観形成(無電柱化等)とアクセス道路の強靱化、道の駅の整備・充実、自転車利活用推進 《施策3,6,8,9》

■9つの施策の代表的な事業箇所

凡例:◆継続箇所 ◇計画期間後半の事業着手 ◎計画期間後半の調査着手

施策1	-① 東北横断自動車道酒田線(山形自動車道 月山 ~ 湯殿山) ※新規事業化を促進 ◆②(国)112号(山形中山道路) -③(国)112号(山形南道路) ※新規事業化を促進 など
施策2	◆④(主)山形天童線(天童市成生~東根市羽入)改築(成生バイパス) <東北中央道> ◆⑤(国)287号(東根市羽入)改築(東根拡幅) <東北中央道> ※<アクセス先> ◎⑥(主)山形山辺線外(山形市城西町外)改築 <東北中央道、山形中山道路、山形南道路> など
施策4	◆⑦(国)286号(山形市防原町)棒原橋架替 ◆⑧(主)山形朝日線(朝日町送橋)法面对策 ◆⑨(一)大石田名木沢線(大石田町鷹巣)流雪溝 など
施策5	◆⑩(一)十日町山形線(山形市飯田)歩道 ◆⑪(一)樽石碁点線(村山市長善寺(2))歩道 ◆⑫(主)山形朝日線(山辺町山辺)歩道 ◆⑬(一)荒谷原崎線(天童市山口(原崎))交差点改良 ◆⑭(主)寒河江西川線(寒河江市洲崎(3))歩道 ◆⑮(主)大石田畑線(大石田町大石田)歩道 ◆⑯(主)尾花沢関山線(村山市楯岡新町)歩道 ◇⑰(主)大江西川線(大江町顔好)歩道 など
施策6	◆⑱(主)山形山寺線(山形市荒谷)荒谷橋架替 ◆⑲(主)山形山寺線(山形市十文字)高瀬川橋架替 ◆⑳(主)大江西川線(大江町月布)月布橋架替 ◎㉑(主)寒河江村山線(河北町谷地)河北橋補修・架替 ◎㉒(一)東根尾花沢線(尾花沢市荻袋)丹生川橋補修・架替 など
施策7	◆㉓(国)458号(中山町金沢)改築 ◎㉔(一)東山七浦線(山形市風間)改築 ◆㉕(国)347号(尾花沢市母袋)改築 ◇㉖(国)458号(山辺町大寺)改築 ◇㉗(国)287号(朝日町上郷)改築 など
施策8	◆㉘(都)旅籠町八日町線(山形市本町)街路 ◆㉙(都)東原村木沢線(山形市木の実町)街路 ◇㉚(主)上山蔵王公園線(山形市蔵王温泉(3))歩道・無電柱化 ◆㉛(都)山元蔵増線(天童市交り江)街路 ◎㉜(都)双月志戸田線ほか(山形市旅籠町)賑わい空間検討 など

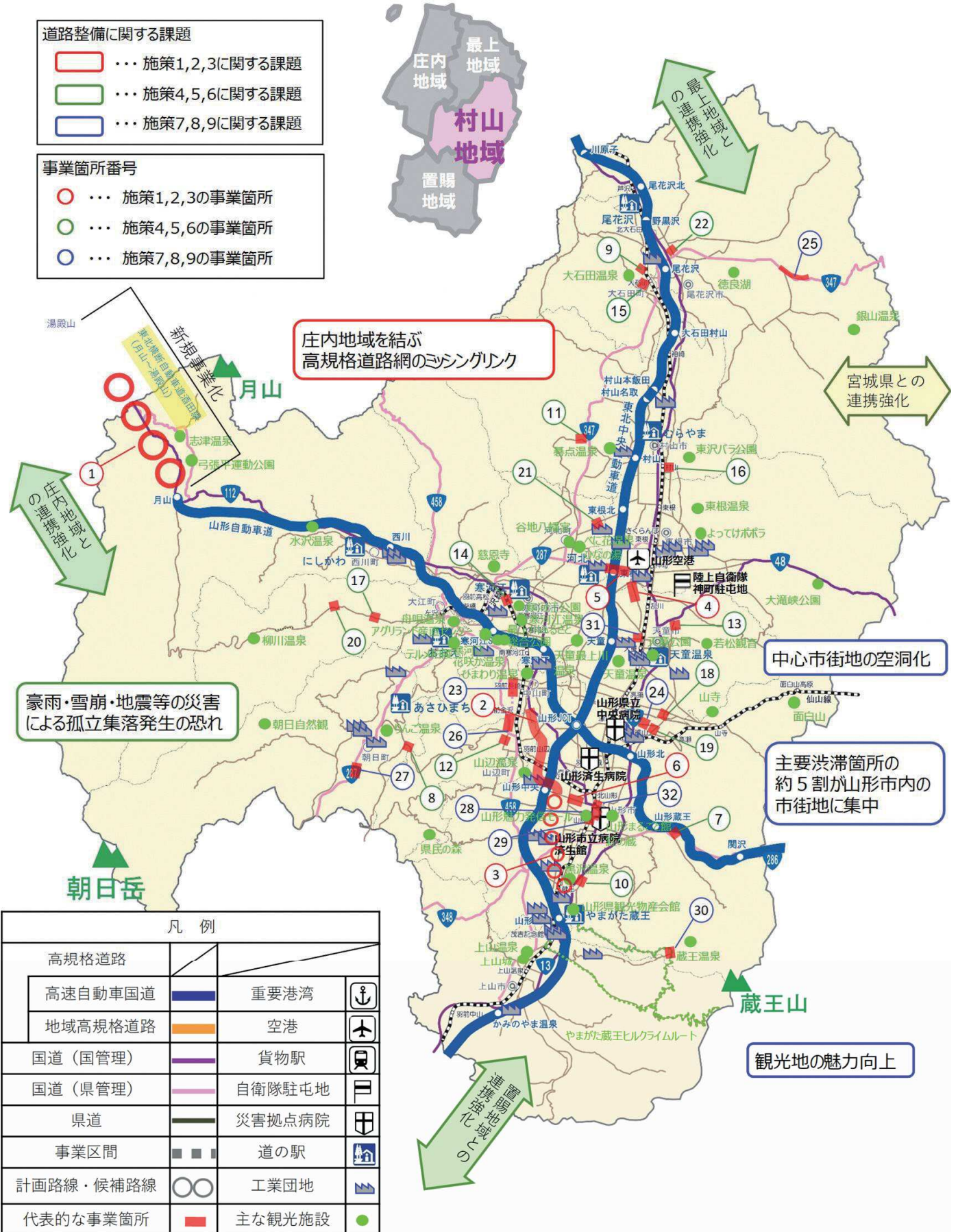
■村山地域の道路状況と課題

道路整備に関する課題

- … 施策1,2,3に関する課題
- … 施策4,5,6に関する課題
- … 施策7,8,9に関する課題

事業箇所番号

- … 施策1,2,3の事業箇所
- … 施策4,5,6の事業箇所
- … 施策7,8,9の事業箇所



凡例	
高規格道路	
高速自動車国道	
地域高規格道路	
国道(国管理)	
国道(県管理)	
県道	
事業区間	
計画路線・候補路線	
代表的な事業箇所	
重要港湾	
空港	
貨物駅	
自衛隊駐屯地	
災害拠点病院	
道の駅	
工業団地	
主な観光施設	

地域のみちづくりビジョン 《最上地域》

■最上地域の今後5年間のみちづくりの方向性

- 1 東北中央自動車道の整備促進による村山地域や秋田県との連携強化 《施策1》
- 2 新庄酒田道路の整備促進、高規格道路へのアクセス強化と石巻新庄道路の新規事業化《施策1,2》
- 3 中山間地域における孤立集落発生の未然防止(リダンダンシー機能の確保) 《施策4,7》
- 4 多様な手法による集落内及び集落間の人にやさしい道路整備 《施策5》
- 5 観光地へのアクセス強化 《施策7》
- 6 庄内など他地域や新庄市と他の町村を結ぶ幹線道路の機能強化 《施策7》
- 7 市町村のまちづくりと連携した生活拠点に接続する市街地道路の整備、アクセス強化 《施策7,8》
- 8 ゲートウェイ機能を持つ「道の駅」の整備 《施策3》

■9つの施策の代表的な事業箇所

凡例:◆継続箇所 ◇計画期間後半の事業着手 ◎計画期間後半の調査着手

施策1	◆① 東北中央自動車道(新庄真室川IC ~ 秋田県境) -② 新庄酒田道路(新庄古口道路、高屋防災、高屋道路、戸沢立川道路) ※上記のほか、未着手区間の新規事業化を促進 -③ 石巻新庄道路 ※新規事業化を促進
施策2	◆④(国)458号(大蔵村清水・本合海バイパス)改築 ◆⑤(主)戸沢大蔵線(戸沢村古口)改築 など ※アクセス先はいずれも新庄酒田道路
施策4	◆⑥(主)真室川鮭川線(真室川町川ノ内)栗谷沢橋取付 ◆⑦(主)新庄次年子村山線(舟形町堀内)堀内橋架替 ◆⑧(国)344号(真室川町差首鍋)雪崩対策 など
施策5	◇⑨(国)344号(真室川町大沢(田郎))歩道 ◇⑩(一)泉田新庄線(新庄市太田踏切)歩道 ◇⑪(国)458号(新庄市下西山踏切)歩道 など
施策6	◆⑫(一)平田鮭川線(鮭川村佐渡)鮭川橋補修 ◆⑬(一)最上西公園線(最上町大堀)白山橋架替 など
施策7	◆⑭(主)新庄戸沢線(新庄市升形)改築(下馬踏切) ◆⑮(主)真室川鮭川線(鮭川村佐渡坂)改築 ◆⑯(一)砂子沢小又釜淵線(真室川町小又)改築 ◆⑰(主)真室川鮭川線(真室川町釜淵)視距改良 ◆⑱(一)東法田大堀線(最上町野頭)改築 ◇⑲(一)稲沢下野明線(金山町安沢外)改築 ◇⑲(一)最上小野田線(最上町下満沢)改築 ◎⑲(国)458号(鮭川村日下)改築 など
施策8	◆⑳(都)北本町飛田線(新庄市新町)街路

■最上地域の道路状況と課題

道路整備に関する課題

- … 施策1,2,3に関する課題
- … 施策4,5,6に関する課題
- … 施策7,8,9に関する課題

事業箇所番号

- … 施策1,2,3の事業箇所
- … 施策4,5,6の事業箇所
- … 施策7,8,9の事業箇所



脆弱な県管理の幹線道路
 ・橋梁の老朽化、耐震性能なし
 ・通行に危険な狭隘区間の存在

地域情報を発信する観光拠点となる「道の駅」が少ない

庄内地域との連携強化

中心市街地の空洞化
 県立新庄病院の移転に伴う交通ニーズの変化

宮城県との連携強化

豪雨・雪崩・地震等の災害による孤立集落発生への恐れ

日本海と太平洋を結ぶウエストラインの形成

全国の高規格道路網につなげていない(東・西・北のミッシングリンク)

村山地域との連携強化

凡例			
高規格道路		重要港湾	
高速自動車国道		空港	
地域高規格道路		貨物駅	
国道(国管理)		自衛隊駐屯地	
国道(県管理)		災害拠点病院	
県道		道の駅	
事業区間		工業団地	
計画路線・候補路線		主な観光施設	
代表的な事業箇所			

地域のみちづくりビジョン 《置賜地域》

■置賜地域の今後5年間のみちづくりの方向性

- 1 高規格道路(新潟山形南部連絡道路(小国道路))の整備促進 《施策1》
- 2 高規格道路網の連絡道路の整備促進およびアクセス向上 《施策2》
- 3 生活圏の生命線である緊急輸送道路等の橋梁架替、長寿命化 《施策6》
- 4 地域内の生活道路の交通安全対策等の機能強化 《施策5》
- 5 市町のまちづくり等と連携した中心市街地の活性化及び渋滞緩和対策 《施策8》
- 6 中山間地域における孤立集落発生 of 未然防止のための災害や豪雪に強い道路整備 《施策4,7》
- 7 生活圏間・都市間ネットワークを形成する幹線道路の機能強化 《施策7》
- 8 観光地における良好な景観の創出 《施策8》

■9つの施策の代表的な事業箇所

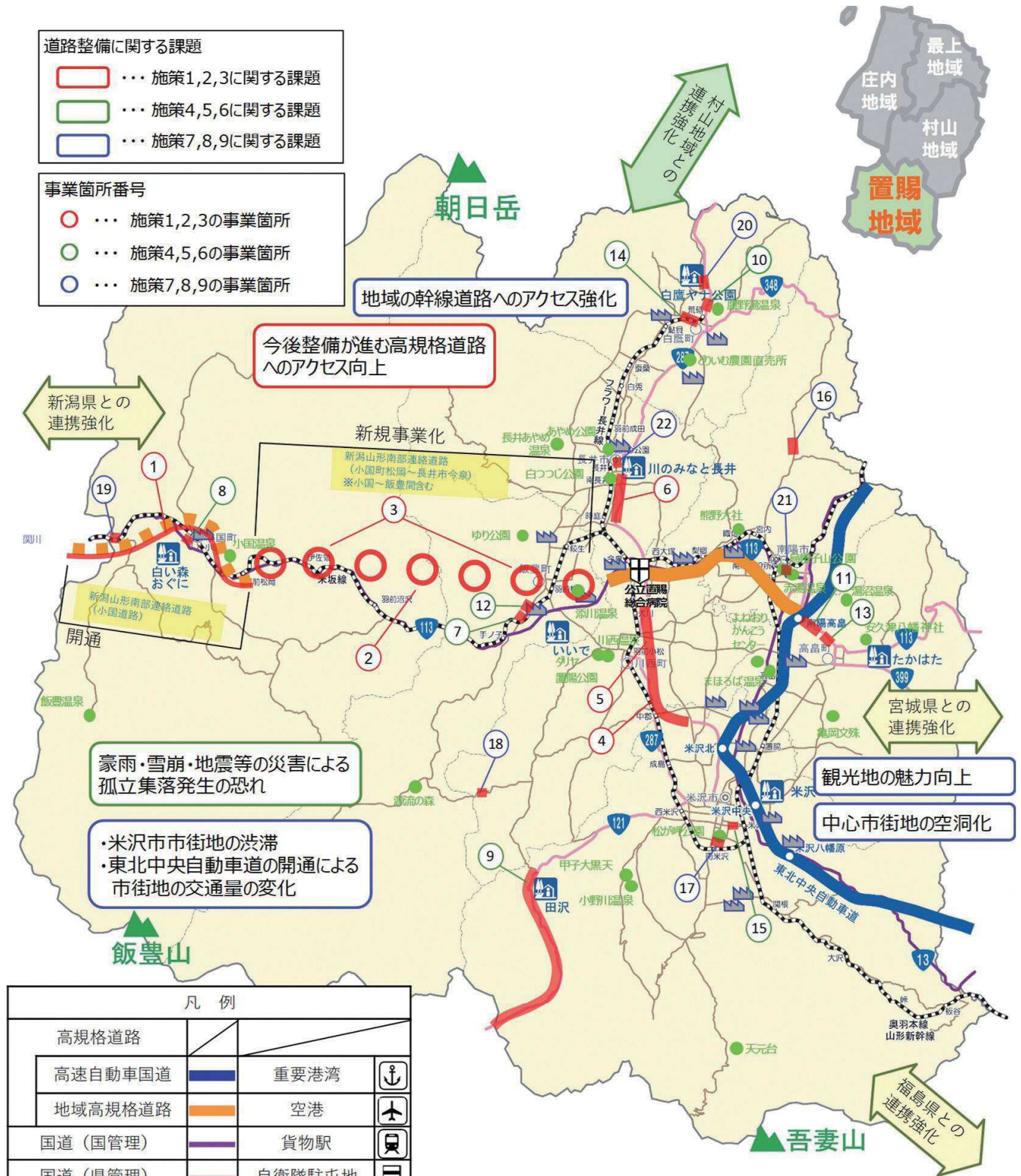
凡例:◆継続箇所 ◇計画期間後半の事業着手 ◎計画期間後半の調査着手

施策1	◆① 新潟山形南部連絡道路(小国道路) -② 新潟山形南部連絡道路(小国～飯豊間) ※新規事業化を促進 -③ 新潟山形南部連絡道路(小国町松岡～長井市今泉(小国～飯豊間除く)) ※新規事業化を促進
施策2	◆④(国)287号(米沢川西バイパス)改築 ◆⑤(国)287号(川西バイパス)改築 ◎⑥(国)287号(長井市館町南外)渋滞対策 など ※アクセス先はいずれも新潟山形南部連絡道路
施策4	◆⑦(主)長井飯豊線(飯豊町小白川)大巻橋架替 ◇⑧(一)五味沢小国線(小国町小国小坂町)飯綱橋架替 ◎⑨(国)121号(米沢市入田沢) 強靱化検討 など
施策5	◆⑩(国)287号(白鷹町菖蒲(1))歩道 ◆⑪(国)113号(高畠町深沼)歩道・交差点改良 ◆⑫(主)長井飯豊線(飯豊町小白川)歩道 ◇⑬(国)113号(高畠町竹森(2))歩道 など
施策6	◆⑭(主)長井白鷹線(白鷹町鮎貝～荒砥)荒砥橋架替 ◇⑮(一)板谷米沢停車場線(米沢市大町)相生橋架替 など
施策7	◆⑯(主)山形南陽線(南陽市板宮)改築 ◇⑰(一)米沢環状線(米沢市本町)改築 ◆⑱(主)米沢飯豊線(川西町菅沼峠)改築(待避所等) ◇⑲(主)玉川沼沢線(小国町玉川)待避所 ◎⑳(国)287号(白鷹町下山)改築 など
施策8	◆㉑(都)赤湯停車場線(南陽市二色根)街路 ◆㉒(都)長井駅海田線(長井市栄町)街路 など

■置賜地域の道路状況と課題

- 道路整備に関する課題
- … 施策1,2,3に関する課題
 - … 施策4,5,6に関する課題
 - … 施策7,8,9に関する課題

- 事業箇所番号
- … 施策1,2,3の事業箇所
 - … 施策4,5,6の事業箇所
 - … 施策7,8,9の事業箇所



凡例			
高規格道路			
高速自動車国道		重要港湾	
地域高規格道路		空港	
国道(国管理)		貨物駅	
国道(県管理)		自衛隊駐屯地	
県道		災害拠点病院	
事業区間		道の駅	
計画路線・候補路線		工業団地	
代表的な事業箇所		主な観光施設	

地域のみちづくりビジョン 《庄内地域》

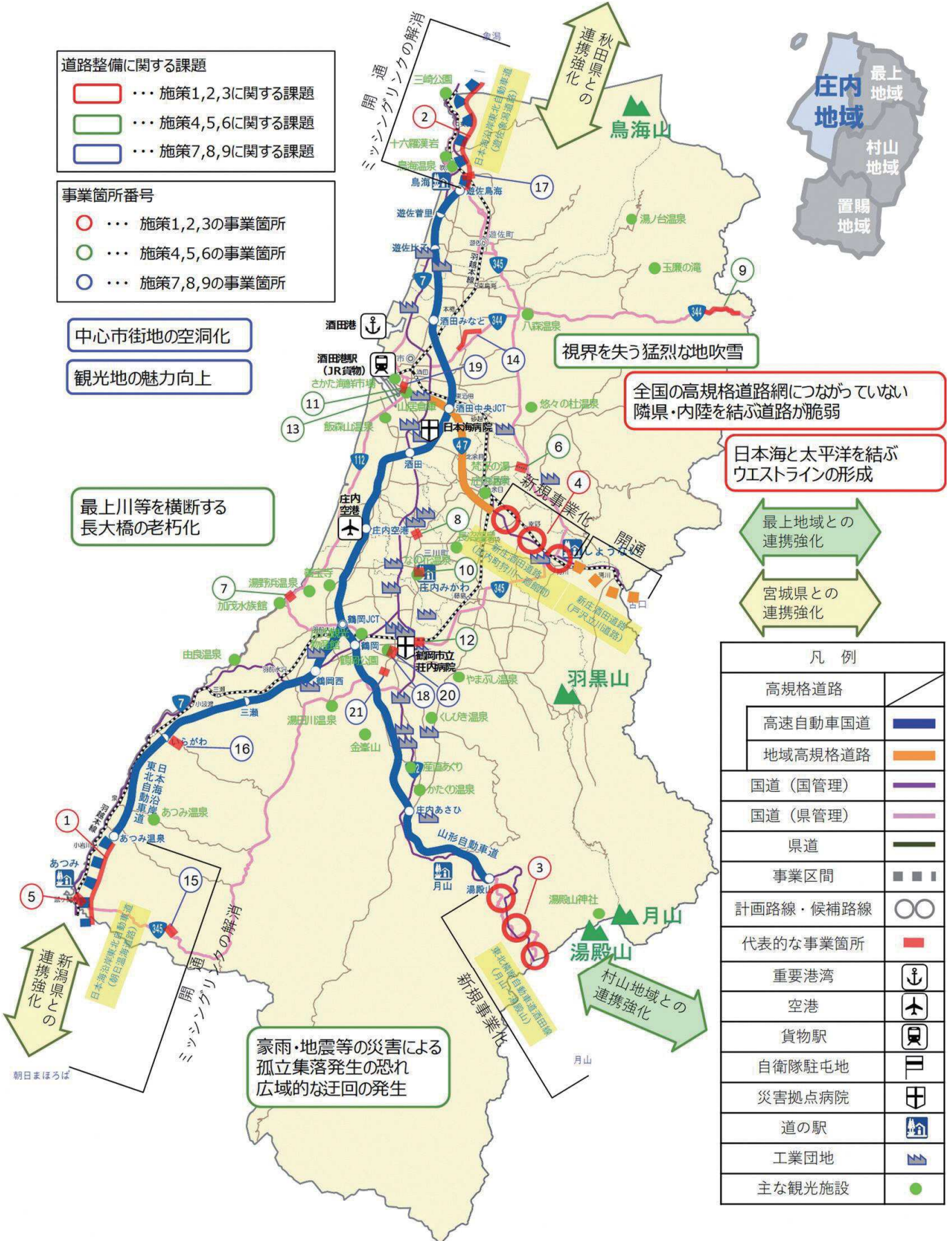
■庄内地域の今後5年間のみちづくりの方向性

- 1 日本海沿岸東北自動車道の整備促進・ミッシングリンクの解消に合わせた他地域との連携強化《施策1》
- 2 山形自動車道及び高規格道路(新庄酒田道路)の未整備区間の新規事業化《施策1》
- 3 地域の生命線である最上川等に架かる長大橋等の更新・長寿命化《施策4,6》
- 4 高規格道路から酒田港等の拠点施設や観光地へのアクセス機能強化《施策2,4,7》
- 5 地吹雪対策などによる冬期間の交通安全の確保《施策4》
- 6 地域内の幹線道路の整備や生活道路等の交通安全対策など環境改善《施策5,7,8》
- 7 市町のまちづくり事業等と連携した都市内道路ネットワークの整備推進《施策8》
- 8 最上地域とを結ぶ交流基盤の強化《施策4》
- 9 ゲートウェイ機能を持つ「道の駅」等への支援《施策3》
- 10 災害や豪雪に強い道路整備による中山間地域における孤立集落発生の未然防止《施策4》

■9つの施策の代表的な事業箇所 凡例:◆継続箇所 ◇計画期間後半の事業着手 ◎計画期間後半の調査着手

施策1	<ul style="list-style-type: none"> ◆① 日本海沿岸東北自動車道(新潟県境～あつみ温泉IC) ◆② 日本海沿岸東北自動車道(遊佐鳥海IC～秋田県境) -③ 東北横断自動車道酒田線(山形自動車道 月山～湯殿山) ※新規事業化を促進 -④ 新庄酒田道路(庄内町狩川(立川)～廻館(余目)間) ※新規事業化を促進 など
施策2	<ul style="list-style-type: none"> ◇⑤ (国) 345号(鶴岡市鼠ヶ関)改築 ※アクセス先は日本海沿岸東北自動車道
施策4	<ul style="list-style-type: none"> ◆⑥ (一) 余目松山線(庄内町堤興屋～酒田市竹田)庄内橋架替 ◆⑦ (国) 112号(鶴岡市金沢)金沢陸橋架替 ◎⑧ (主) 庄内空港立川線(三川町猪子)両田川橋架替 ◆⑨ (国) 344号(酒田市北青沢)雪崩対策 ◆⑩ (主) 藤島由良線(三川町横山)防雪柵 など
施策5	<ul style="list-style-type: none"> ◇⑪ (国) 112号(酒田市本町)歩道 など
施策6	<ul style="list-style-type: none"> ◆⑫ (国) 345号(鶴岡市大宝寺)三川橋補修 ◆⑬ (国) 112号(酒田市本町)実生橋架替 など
施策7	<ul style="list-style-type: none"> ◆⑭ (国) 344号(酒田市安田)安田バイパス ◆⑮ (国) 345号(鶴岡市平沢(1))改築 ◆⑯ (主) 菅野代堅苔沢線(鶴岡市山五十川(1))改築 ◎⑰ (一) 菅里直世下野沢線(遊佐町直世)改築 など
施策8	<ul style="list-style-type: none"> ◆⑱ (都) 道形黄金線(鶴岡市馬場町(1))街路 ◆⑲ (都) 本町東大町線(酒田市本町(1))街路 ◇⑳ (都) 道形黄金線(鶴岡市泉町)街路 ◎㉑ (一) 鶴岡村上線(鶴岡市美原町)交差点改良等 など

■庄内地域の道路状況と課題

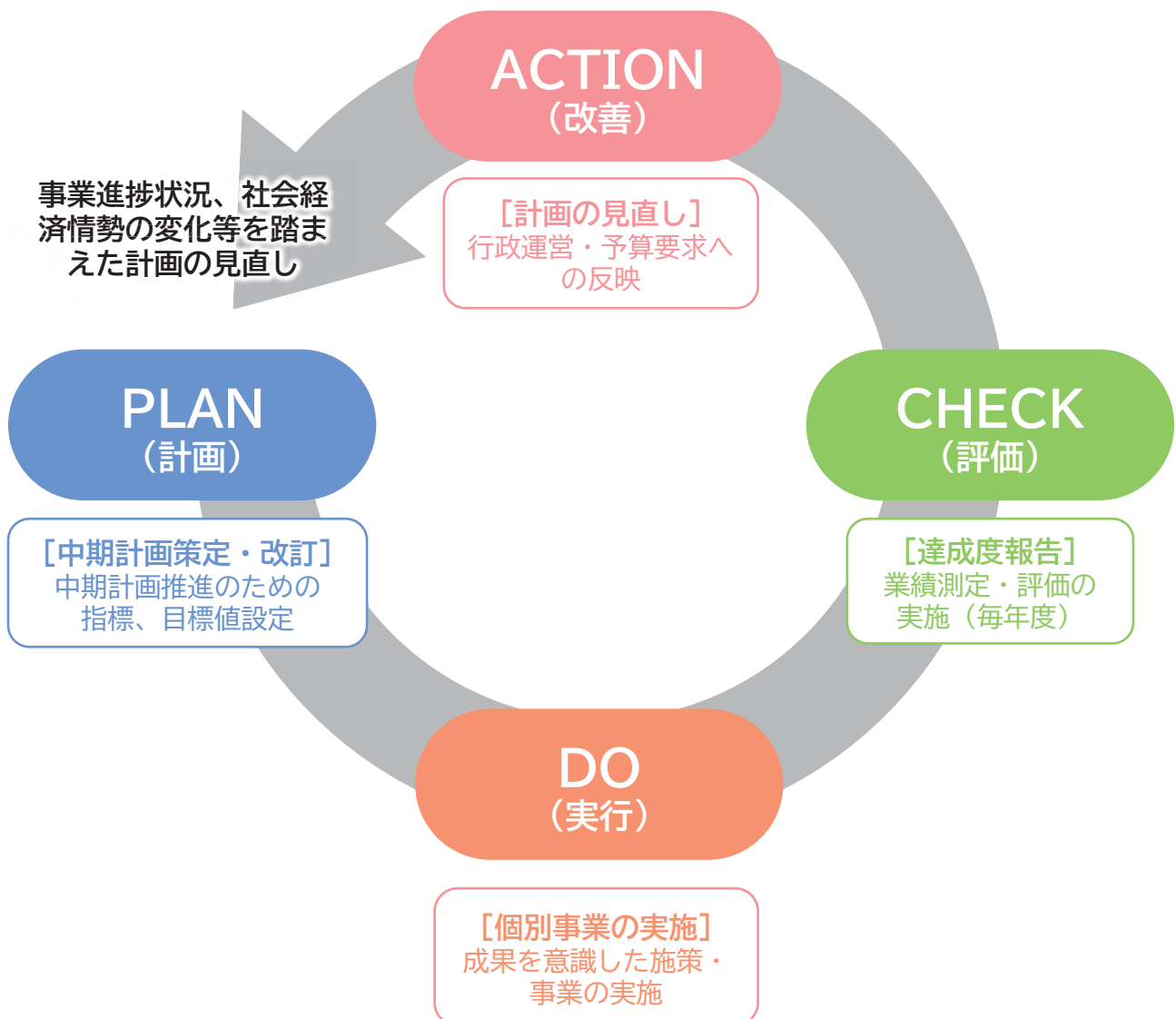


施策の進め方

本計画に位置付けたみちづくりの施策の推進にあたっては、道路行政マネジメント(PDCAサイクル)の考えに基づき、施策指標の達成状況や事業進捗状況等を考慮し、取り組みを評価します。

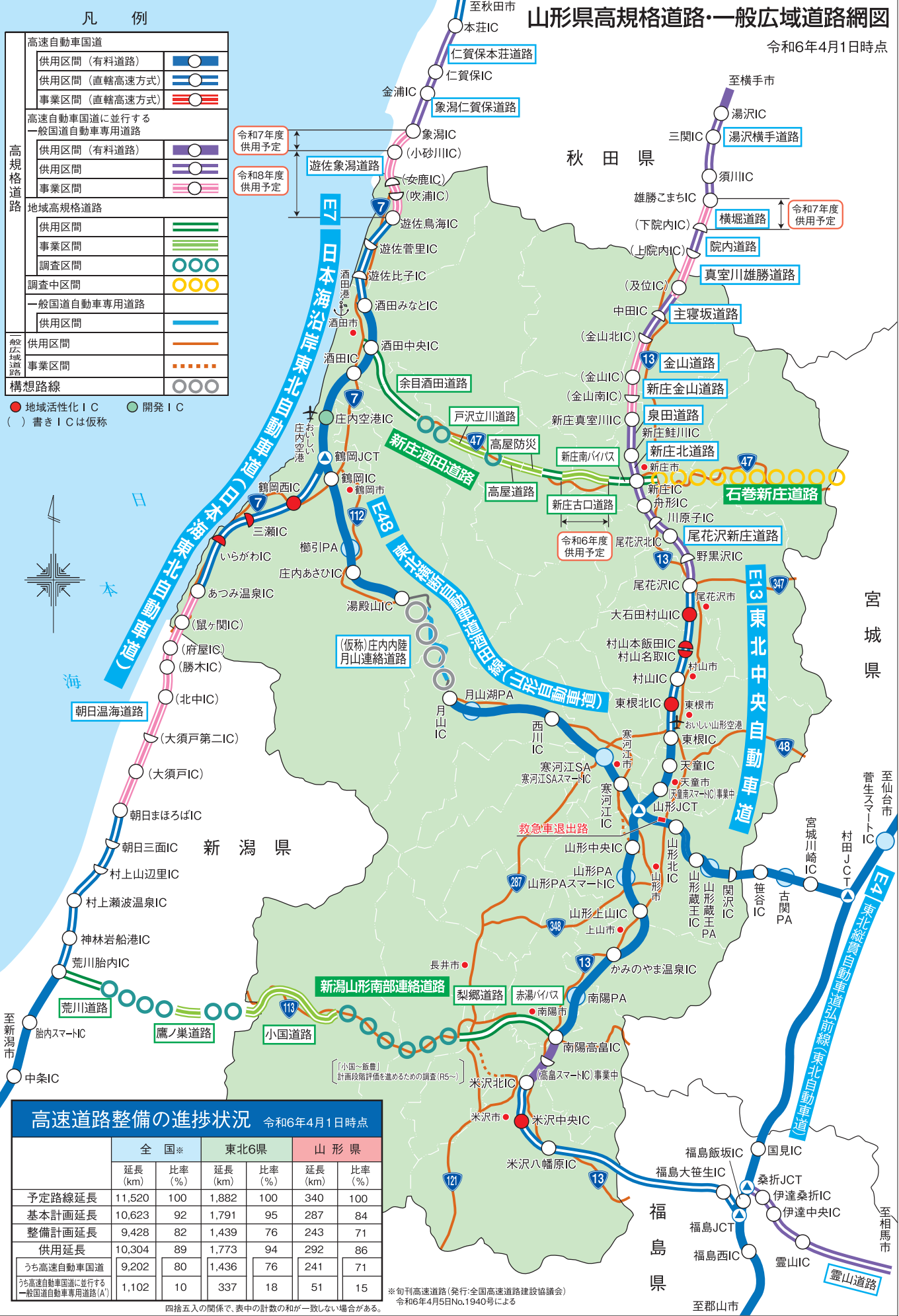
社会情勢や財政状況の変化等に的確に対応するため、広く県民、県議会、市町村、道路利用者からの意見を求めながら、概ね5年を目途に計画の見直しを行います。

■道路行政マネジメント(PDCAサイクル)



山形県高規格道路・一般広域道路網図

令和6年4月1日時点



高速道路整備の進捗状況 令和6年4月1日時点

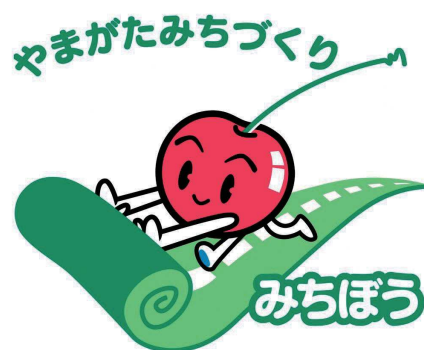
	全国※		東北6県		山形県	
	延長 (km)	比率 (%)	延長 (km)	比率 (%)	延長 (km)	比率 (%)
予定路線延長	11,520	100	1,882	100	340	100
基本計画延長	10,623	92	1,791	95	287	84
整備計画延長	9,428	82	1,439	76	243	71
供用延長	10,304	89	1,773	94	292	86
うち高速自動車国道	9,202	80	1,436	76	241	71
うち高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路(A)	1,102	10	337	18	51	15

※旬刊高速道路(発行:全国高速道路建設協議会) 令和6年4月5日No.1940号による
四捨五入の関係で、表中の計数の和が一致しない場合がある。

山形県道路中期計画

2028

(改訂版)



(問合せ先) 山形県 県土整備部 道路整備課 道路企画担当

山形県道路中期計画2028(改訂版)について詳しくはホームページをご覧ください

山形県 道路中期計画

検索